



心が弾む「ゆかた」は
日常の景色を変える

何気ない日常のなかで、
粋にゆかたを着こなす女性がいる。
私はそれをみるたびに、
羨望と心のときめきを感じていた。

「いつかゆかたを着てみたい」。

毎年、そんな思いが吹き溜まっては、
夏の終わりを迎えていたのだが…。

「今年こそは！」。そう決めたなら、

不思議と行きたい場所、やりたいことが

溢れんばかりに浮かんで来た。

まずは、地元の花火と夏祭り…

いや、それはちょっと王道過ぎるか…。

友達とゆかた話に花を咲かせ、盛り上がりつつあるうちに、

私はあることに気付いた。そもそもゆかたとは

「ワンピースのような遊び着」なのだ。

洋服と同じ感覚で着ることに

一体何の恥じらいがあるのだろうか。

私はついにゆかたに手を伸ばした。着心地や風合いに

こだわらなくて、選んだのは「浜松注染そめゆかた」。

手染めならではのほかしやグラデーションが美しく、

落ち着いた大人の雰囲気を出してくれる。

初めて袖を通した時、友達と向き合いながら

「意外と涼しいね」と笑った。

この夏、私のワードローブに新鮮な一着が加わった。

マンネリとした日常が、
少しだけ変わりはじめた気がしている。

粋な日常着 浜松注染そめの ゆかたで街歩き



いとへの街 浜松
ゆかた
【浜松注染そめ】

撮影協力 / SAN FELICE

教えて

浜松注染そめゆかたとは？

染めの美しさと着心地の良さは、浜松注染そめゆかたならではの。
伝統の技はいかにして生まれたのだろうか。

浜松は、東京、大阪に並ぶゆかたの
三大産地のひとつであり、全国有数の
取扱量を誇る。そんなゆかたの本
場・浜松を支える伝統的な技術が、
100年以上続く「浜松注染そめ」
である。浜松で注染そめが始まった
のは、明治20年代のこと。当時はぬ
くいの染色技法であったが、大正時
代になるとゆかた染めが主流とな
り、法被やのれんなどにも広がって
いった。

染色加工には染料や糊を洗い流す
大量の水と、反物を乾かす風が必要
となる。豊富な地下水と天竜川等の
河川、遠州のからっ風など、染物に
適した環境は、産業の発展を大きく
支えてきた。また、紡績業で活気が
あつた浜松には、東京や大阪から多

くの職人が流入。昭和30年代には大
小あわせて100社近くもの関連
工場があり、注染技法によるゆかた
染めが普及した。現在、浜松の注染
関連工場は6社程度にまで減少し
たが、色使いやにじみ・ぼかしなど
の職人技は、忠実に受け継がれ、価値
ある伝統技法として守られている。
浜松の織物と注染そめの技術、職人
の心が込められた浜松注染そめゆ
かた。一度着てみればその心地良さ
に気付くはずだ。

注染とは？

日本独自の染色
技術。特殊な糊
で防染し、じゃば
らに折り重ねられ
た生地の上から「やかん」で染
料を注ぎ入れ、模様部分を染め上げる。裏表なく染
め上がるのが特徴で、ほかしのある独特の風合いと
立体感を兼ね備えた染色生地が生まれる。使
い込むほどに、色落ちややわらかさの変化を楽しめ
るのも特徴。



「浜松注染そめゆかた」のここが魅力！

- ◆ 布の表と裏が同じ色柄に染まり、高級感がある
- ◆ 独特なにじみやぼかしにより優しい風合いに染まる
- ◆ 手作業のため、ひとつとして同じものはない
- ◆ 繊維をふさがないので通気性が良く涼しい。肌触りも良い
- ◆ きれいなフォルムを生み出す、やわらかく立体感のある生地

PICK UP ゆかたの産地ならではの！浜松注染そめゆかたのレンタル

「浜松注染めゆかたが欲しいけど、一度試してみたい」「毎回違うデザインを
着たい」「ゆかたを着て女子会がしたい」…そんな方へおすすめしたいのが
ゆかたのレンタル。大正9年創業、中心市街地の老舗呉服店「いしばし」で
は、約60着の浜松注染そめゆかたをそろえ、着る楽しみを提案している。レ
ンタルなら派手な色や柄など冒険もでき、街歩きや飲み会など日常の遊び
着として利用しやすいメリットも。通気性や吸水性、着心地の良さを体感し
ながら、夏のオシャレを楽しんで。

浜松注染そめゆかた
レンタル 2泊3日 4,500円
※細帯、下駄、小物、着付け、
クリーニング代込 ※要予約
ファッションきもの いしばし
浜松市中区田町325-10 ☎053-454-3371
<http://www.1484kimono.jp/>



現代の織姫 染め紡ぐ浜松 廣上明子さん



伝統品を消費者目線で発信

浜松注染そめゆかたと遠州綿紬の着物の普及に取り組む団体、「染め紡ぐ浜松」
の代表・廣上さん。着付けの練習会や工房見学、食事会などを定期的に企画し、
浜松の伝統品を知る機会や和装を楽しむ場を提供している。活動のきっかけは、
昨年の春、「今年こそ自分でゆかたを着られるようになりたい」と言う人がまわり
に増えたことだった。その頃、浜松注染そめゆかたの美しさを知り、みんながファンに
なったという。着付けの資格を持っていた廣上さんは、同じ目的を持つ仲間と一緒に
着付けの練習会を開始。接点がなかった繊維業界とも交流が深くなり、イベントへ精
力的に参加するなど活動の幅を広げている。「地元のゆかたと着物の魅力や気軽さ
を発信し、着る人を増やしたい。繊維産業の活性化のお手伝いができれば」と話す。
「染め紡ぐ浜松」ブログ <http://sometsumuguhamamatsu.hamazo.tv/>

浜松市楽器博物館



日本で初めての公立楽器博物館で、
2015年に20周年を迎えた。ヨーロッパ
の古楽器から世界各地の楽器、日本の伝
統楽器、近代電子楽器など、約1,300点
が地域・テーマ・年代別に展示されてい
る。イヤホンガイドで楽器の音色や解説
を聞きながら、世界を旅してみよう。

浜松市中区中央3-9-1 ☎053-451-1128 時/9:30~17:00 休/第2・4水曜
(祝日の場合は翌日、8月は無休)、12月29日~1月3日 大人800円、高校生400円、
中学生以下・70歳以上・障害者無料 <http://www.gakkihaku.jp/>

浜松城



徳川家康が29歳~45歳までの17年間で
過ごした城。2014年には、140年ぶりに
天守門が再建された。展望台からは浜松
市街を一望でき、城内には家康と城下町
浜松にまつわる資料や武具などを展示。
別名「出世城」とも呼ばれ、縁起を担ぎたい
人にもおすすめのスポット。

浜松市中区元城町100-2 ☎053-453-3872
時/8:30~16:30 休/12月29日・30日・31日 料/大人200円、中学生以下無料
<http://www.hamamatsu-navi.jp/shiro/>

浜松
中心地を
巡るなら!

立ち寄りしたい
スポット